

2021年11月

2021年度保護者懇談会アンケート結果概況

IR室より

このアンケートは、2021年10月に実施した保護者懇談会(Web開催)アンケート結果から、本学の教育内容に関する項目を抜粋したものです。

2021年度も、新型コロナウイルス感染症の感染予防の観点から、web開催(一部対面)での実施となり、アンケートにご回答いただいた方が少なくなりました。しかし、いただいた貴重なご意見につきましては、本学の教育改革の参考にさせていただきたいと思えます。

今回のアンケート結果の概況は次の通りです。

【在籍学科に対する満足度】

本学(大学、短期大学部)の教育活動にご満足(“満足”と“やや満足”の合計)をいただいている結果となりました。

【身に付けさせたい能力】

学生に身に付けさせたい能力については、「専門性」と「コミュニケーション能力」が高く、次に「課題発見・解決能力」、「チームワーク」の順でご回答をいただきました。「専門性」と「コミュニケーション能力」が高くあげられたことは、大学入試改革が進められる中で学力の3要素を求められる時代背景もあり、学生だけでなく保護者にも「専門性」と「コミュニケーション能力」が重要であるとの認識が広がっていることがうかがえます。

また、「課題発見・解決能力」が3番目に挙げられている点については、文部科学省が新しい学習指導要領において重点項目に挙げている事項であり、このことが意識されている結果であるととらえています。

【本学が今後充実させるべき点】

本学が今後さらに充実すべきことについては、「専門性」や「就職支援」が高く、次に「教養」と「コンピュータ活用力」のご回答をいただいております。

これらの結果から、保護者の皆様は、複雑で変化の激しい現代社会では、固有の組織のこれまでの在り方を前提としてどのように生きるかだけでなく、様々な情報や出来事を受け止めつつ、主体的に判断しながら、自分を社会の中でどのように位置付けし、未来社会をどう描くかを考えて、他者と一緒に生き、課題を解決していくための必要な力を獲得してほしいとの強い希望をお持ちであることを、私達は深く受け止めています。

本学としては、知識・情報・技術が社会のあらゆる領域での活動の基盤となる知識基盤社会の中で、個人の能力を最大限に引き出し、一人一人が国家社会の形成者として社会に貢献しながら自己実現を図り、よりよい人生を生きられるような能力の養成が求められているものと考え、大学が責任をもって指導・支援すべきと考えています。

【本学に対するイメージ】

大学と短大ともに、「資格取得」が最も多くあげられており、本学が教育理念としてかかっている「職業的教育」ということに通じていると考えています。

【大学・学部を選ぶ際に重視する項目】

第1に「専攻したい学問分野があること」が挙げられており、続いて「自宅(親元)から通える」、「専門的な知識・技能が身に付く」などが挙げられています。このことは、免許・資格等の取得をめざす学部・学科に対する強い期待の表れであると考えています。また、「自宅(親元)から通える」が2番目に挙げられている点については、保護者の方が、昨今の新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、地元の通える大学を意識するようになったという時代背景がうかがえます。

本学は、引き続き、皆様の期待にこたえられるような教育を展開していきたいと考えています。

本アンケートで得られました調査データは、本学の教育内容の充実のための貴重な資料として活用させていただきます。

ご協力いただきました保護者の皆様方に厚くお礼申し上げます。